



# 須々万中だより

第4号 令和6年7月18日

周南市須々万本郷 10362 番地の5

TEL 0834-88-0021



## 1 学期を振り返ろう

—須々万中学校は、「さらに一步」を踏み出します—

校長 河 辺 哲 也

ふるさとを愛し、支え合いながら、新しい時代に挑戦できる生徒の育成

須々万中学校には、学校教育目標があります。これは、日々の教育活動をとおして、どんな生徒を育てたいのか、という私たちの目標です。上の言葉が、須々万中学校の学校教育目標です。キーワードは、「ふるさと愛」「支え合い」「挑戦」です。4月から四ヶ月間、どのような取組をしてきたか、振り返りたいと思います。



<生徒参加の学校運営協議会>

### (1) ふるさと愛

須々万中学校の生徒一人一人は、進学・就職によって、この地域から離れても、いつかこの地域に帰ってきてほしい、そして、地域の担い手として活躍してほしいと考えています。そこで、去年の学校運営協議会から、地域の委員さんと生徒（生徒会役員）が話し合い、地域に対する生徒の思いを「形にする」取組を行っています。（右上写真）今年度は「学び—生きる力を高めよう」というテーマで生徒会から提案し、地域の方と協議しました。小学校の「寺子屋学習」や地域清掃、地域行事へのボランティア、運動会、文化祭等、「学び」をとおして地域の方と関わりながら、生きる力を高めています。

### (2) 支え合い—無言清掃—

学ぶ場所には、人が集います。当然活動するので、教室や廊下、階段、トイレ等は汚れます。そこをきれいにする。その繰り返し、「ともに生活する」ということです。この学ぶ場を、「みんなできれいにしよう。」「おしゃべりをせず、黙って取り組もう」ということを全校生徒が意識して取り組んでいます。支え合う形の一つです。（右写真）



### (3) 挑戦

挑戦とは、「自分から、チャレンジする」ことです。そこには、「小さな勇気」が求められます。今年度の生徒会スローガン「響生（きょうせい）」には、「お互いのよさを出し合い、響かせ、さらによりよい集団になろう」という思いが込められています。この思いを形にする挑戦なくして、スローガンは実現できません。先日の生徒総会では、「学年の縦の関係をさらに深めるにはどうしたらよいか」というテーマで全校生徒が協議しました。（右写真）私は、この「さらに」という言葉に、「現状には満足せず、一步踏み出そう」という気持ちを感じます。まさしく、生徒会としての挑戦です。すばらしいですね。須々万中学校は、さらに一步前進します。

